

日本陸上競技連盟からのお知らせ

目次

■2022年度 主要競技会日程 (案)

■活動報告

●第70回理事会報告

2021年9月27日(月)に第70回理事会を、WEB会議システムを用いて開催いたしました。

●陸上競技研究紀要投稿募集について

日本陸上競技連盟では、指導者への有益な情報の提供を目的に、毎年、陸上競技研究紀要を発行しています。内容は、みなさまからの投稿論文、特集企画、科学委員会の研究報告、医事委員会からのレポートなどで構成しています。

■大会観戦ガイド

「第75回福岡国際マラソン選手権大会 兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ 兼 オレゴン2022世界陸上競技選手権大会マラソン日本代表選手選考競技会 兼 杭州2022アジア競技大会マラソン日本代表選手選考競技会」

「男子第72回全国高等学校駅伝競走大会 女子第33回全国高等学校駅伝競走大会」

■事務局からのお知らせ

ライフスキルトレーニング

インタビュー Vol.1 伊藤陸×松尾大介コーチ×田崎博道社長

～三段跳・伊藤陸 大きな飛躍の裏側にあった変容や学び～

インタビュー Vol.2 伊藤陸×松尾大介コーチ×田崎博道社長

～物事を素直に受け止めること、自分を冷静にみることの大切さ～

戸邊直人選手 (JAL) がJOCアスリート委員に立候補!

～陸上競技を代表し、スポーツ界全体の発展・貢献を目指す～

information

- ・日本陸連登録料の設定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/fee/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2022年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15231/>



- ・シューズ規則/広告規定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>



- ・アンチドーピング/鉄剤注射の防止

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>



- ・陸上競技場、長距離競走路の認定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>



- ・【オレゴン世界選手権】エントリースタンダード

https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202108/17_171714.pdf



2022年度 主要競技会日程 (案)

※主要競技会日程は、2022年3月の理事会で最終承認されます。

2021年10月18日現在

	主催・共催競技会			主要競技会			国際競技会			
	期日	競技会名	場所	期日	競技会名	場所	期日	競技会名	場所	
4月	17(日) 調整中	106 日本選手権35km競歩 24 長野マラソン	輪島(石川) 長野	9(土) 調整中 15(金)~17(日) 調整中 24(日) 29(金・祝)	30 GP 全栗記念選抜中・長距離 76 GP 出雲陸上 22 日本学生個人 70 GP 兵庫リレーカーニバル 11 ぎふ清流ハーフマラソン 56 GP 織田記念陸上	えがお健康スタジアム(熊本) 島根県立浜山公園(島根) レモンスタジアム平塚(神奈川) 神戸総合運動公園ユニバー記念(兵庫) 岐阜 広島広域公園(広島)				
	7(土) 8(日) 調整中	106 日本選手権・10000m '22 ゴールデンランプリ陸上 68 全日本中学通信陸上	調整中 各地	3(火・祝) 4(水・祝) 5(木・祝) 調整中 調整中	37 GP 静岡国際陸上 '22 GP ゴールデンゲームズinのべおか '22 GP 水戸招待陸上 '22 仙台国際ハーフマラソン 9 GP 木南道孝記念	小笠山(通)静岡スタジアム(静岡) 延岡市西階(宮崎) ケーズスタジアム水戸(茨城) 宮城 ヤンマースタジアム長居(大阪)				
	4(土)~5(日) 4(土)~5(日) 9(木)~12(日) 9(木)~12(日)	106 日本選手権・混成競技 38 U20日本選手権・混成競技 106 日本選手権 38 U20日本選手権	秋田県営(秋田) 秋田県営(秋田) ヤンマースタジアム長居(大阪) ヤンマースタジアム長居(大阪)					6月~9日(木) 30(水)~7/5(火)	19 アジアジュニア選手権 ワールドユニバーシティゲームズ	醴泉(韓国) 成都(中国)
	7月			調整中	62 実業団・学生大会	調整中		15(金)~24(日)	33 世界選手権	オレゴン(アメリカ)
8月	1(月)~3(水) 3(水)~7(日) 18(木)~21(日) 調整中	57 全国定通制高校陸上 76 全国高校陸上 49 全国中学陸上 57 全国高専陸上	駒沢オリンピック公園(東京都) 権門・大塚スポーツパーク ボカリエスタジアム(徳島) とほろみんのスタジアム(福島) 愛媛県総合(愛媛)	調整中 28(日) 調整中	45 蔵王坊平クロスカントリー大会 '22 GP 布勢スプリント '22 北海道マラソン	蔵王坊平アスリートヴィレッジ(山形) 鳥取県立布勢総合(鳥取) 調整中	2(火)~7(日)	19 U20世界陸上競技選手権	カリ(コロンビア)	
	調整中	38 全国小学生陸上	調整中	9(金)~11(日) 調整中	91 日本学生対校 70 全日本実業団	たけびしスタジアム(京都) 岐阜メモリアルセンター長良川(岐阜)	10(土)~25(日)	19 アジア大会	杭州(中国)	
	6(木)~10(月) 16(日) 調整中 調整中	77 国民体育大会 レガシーハーフマラソン 53 U16陸上競技大会 16 U18陸上競技大会	栃木県総合(栃木) 東京 愛媛県総合(愛媛) 愛媛県総合(愛媛)	10(月・祝) 調整中 30(日) 調整中	34 出雲全日本大学選抜駅伝 19 GP田島記念 40 全日本大学女子駅伝 60 全日本35km競歩高島	島根 維新百年記念公園(山口) 宮城 山形				
11月				6(日) 調整中 13(日) 調整中	54 全日本大学駅伝 10 神戸マラソン 37 東日本女子駅伝 42 全日本実業団女子駅伝	愛知・三重 神戸(兵庫) 福島 宮城				
	18(日) 調整中	30 全国中学駅伝 73 全国高校駅伝	希望が丘(滋賀) 京都	調整中 調整中 18(日) 30(金)	'22 長崎陸協競歩 53 防府読売マラソン 41 山陽女子ロードレース '22 全日本大学女子選抜駅伝	長崎県立総合(長崎) 山口 岡山 静岡		アジア・ユース競技大会	汕頭(中国)	
2023 1月	15(日) 22(日) 調整中	41 都道府県対抗女子駅伝 28 都道府県対抗男子駅伝 42 大阪国際女子マラソン	京都 広島 大阪	1(日・祝) 1(日・祝) 調整中	67 全日本実業団対抗駅伝 71 元旦競歩 '23 大阪ハーフマラソン	群馬 東京 大阪				
	4(土)~5(日) 4(土)~5(日) 調整中 19(日) 調整中 調整中	106 日本選手権・室内競技 23 日本室内陸上大阪 8 全国中学生クロスカントリー 106 日本選手権20km競歩 106 日本選手権クロスカントリー 38 U20日本選手権クロスカントリー	大阪城ホール(大阪) 大阪城ホール(大阪) 希望が丘(滋賀) 兵庫 福岡 福岡	調整中 5(日) 調整中 調整中 調整中 調整中	71 別大マラソン 76 香川丸亀国際ハーフマラソン 34 全日本びわ湖クロスカントリー 52 実業団ハーフマラソン '23 熊本城マラソン 56 青梅マラソン '23 京都マラソン	大分 香川 希望が丘(滋賀) 山口 熊本 東京 京都	18(土)	44 世界クロスカントリー選手権	パース(オーストラリア)	
3月	調整中 調整中 19(日)	'23 東京マラソン '23 名古屋ウィメンズマラソン '47 全日本競歩能美	東京 愛知 石川	調整中 調整中 19(日)	26 日本学生ハーフマラソン 26 日本学生女子ハーフマラソン 17 日本学生20km競歩	東京 島根 石川	17(金)~19(日) 19(日)	世界室内選手権 アジア陸上競技選手権20km競歩	南京(中国) 能美(石川)	

★=後援競技会、○=協力団体主要競技会、※=オンライン開催

調整中 106 日本選手権・リレー競技 調整中 調整中 '22 GP Danka Athletics Challenge Cup デンカビックスワン(新潟)
調整中 大阪マラソン 調整中 調整中 43 全日本マスターズ 調整中

理事会報告

第70回理事会

日 時：2021年9月27日（月）
14時03分～17時17分
場 所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
日本陸上競技連盟会議室
開催方法：WEB会議システムを用いて開催

【議事内容】

理事総数30名中出席者26名にて、理事会の成立を鈴木事務局長が報告。尾縣会長が挨拶し、引き続き、議事進行に入る。

〈報告事項〉

1. 東京2020オリンピック競技大会報告

麻場強化委員長より資料に基づき、2021年7月30日から8月8日までの日程で開催された東京2020オリンピック競技大会代表選手団（選手66名、役員46名）の総括がなされた。

〔成績〕

メダル	2	銀メダル 男子20km競歩 池田 向希 銅メダル 男子20km競歩 山西 利和
8位入賞	7	6位 男子走幅跳 橋岡 優輝 6位 男子マラソン 大迫 傑 6位 男子50km競歩 川野 将虎 7位 男子3000mSC 三浦 龍司 7位 女子10000m 廣中 璃梨佳 8位 女子1500m 田中 希実 8位 女子マラソン 一山 麻緒
メダルテーブル		29位
プレーシングテーブル		18位

〔主な記録〕

男子：日本記録2

- ・3000mSC 三浦 龍司（8分09秒92）
- ・4×400mリレー 伊東・川端・佐藤・鈴木（3分00秒76※タイ記録）

女子：日本記録2

- ・1500m 田中 希実（3分59秒19）
- ・5000m 廣中 璃梨佳（14分52秒84）

女子：自己記録4

- ・1500m 卜部 蘭（4分07秒90）
- ・5000m 田中 希実（14分59秒93）
- ・5000m 萩谷 楓（15分04秒95）
- ・10000m 廣中 璃梨佳（31分00秒71）

〈協議事項〉

1. 2021年度主要競技会日程

鈴木事務局長より資料に基づき説明があり、2022年度主要競技会日程が承認された。

〔主な主催競技会〕

- ・第106回日本陸上競技選手権大会35km競歩

- 4月17日（日）輪島（石川）
50kmから30kmへの距離の変更
- ・第106回日本陸上競技選手権大会・10000m
5月7日（土）場所は調整中
- ・ゴールデングラプリ陸上2022
5月8日（日）場所は調整中
- ・第106回日本陸上競技選手権大会・混成競技
第38回U20日本陸上競技選手権大会・混成競技
6月4日（土）～6月5日（日）
秋田県営陸上競技場（秋田）
- ・第106回日本陸上競技選手権大会
第38回 U20 日本陸上競技選手権大会
6月9日（木）～6月12日（日）
ヤンマースタジアム長居（大阪）
- ・2021年度は、U18陸上競技大会及びU16陸上競技大会と同時開催する予定であった日本陸上競技選手権大会・リレー競技は、2022年度は単独開催とする。
（日程、場所は調整中）

（本号261頁及び本連盟WEBサイト<https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202109/2022calendar.pdf>参照）

※2022年度主要競技会日程は、2022年3月に開催する本連盟理事会において最終承認されるため、資料は案のままとする。

2. JAAF中長期計画

石井経営企画部長兼管理部長より資料に基づき説明があり、JAAF中長期計画の方向性が原案通り承認された。

3. 登録制度検討プロジェクトの設置

三宅経営企画部経営企画課長より資料に基づき説明があり、登録制度検討プロジェクトの設置が原案通り承認された。

【承認された内容は下記の通り】

〔背景と目的〕

本連盟では2021年度より登録料制度を導入し、すべての登録会員に大学生・一般1,000円、中学生・高校生500円の登録料（いずれも年額）をお納めいただいている。登録料制度の導入を決定した2020年9月の理事会では、2022年度まではこの額とし、2023年度以降の登録料はプロジェクトを設置して検討した上で決定することが付記された。

登録制度に関しては、登録料以外にも課題がある。社会情勢としては、教員の働き方改革に伴って、中学生・高校生の活動の場を学校部活動から地域クラブへ移行する方針が国から示されており、加盟団体・協力団体へも影響することは必至で、本連盟も対応が急がれる。

学校の教員に頼りがちだった指導者や審判員を質、量

の両面で確保する方策も不可欠である。また、協力団体と本連盟の登録制度の関係の整理、現在は実施していない小学生の登録制度などについても検討が必要である。

本プロジェクトでは登録料にとどまらず、登録制度全般を検討・議論の対象とする。現状の登録制度や関連した課題を整理し、2023年度以降の登録制度をより良いものにより、JAAF VISION 2017で掲げたアスレティックファミリーの拡大、ウェルネス陸上の確立にも寄与することを目指す。

〔検討のポイント〕

- ・2023年度以降の登録料
- ・小学生登録
- ・学校部活動の地域クラブ移行に伴う登録制度のあり方
- ・各協力団体の登録と本連盟登録の関係の整理
- ・審判資格、指導者資格、加盟団体・協力団体役員等の登録の整理
- ・各加盟団体・協力団体での資格審査など業務改善に関するシステム開発の検討 など

〔メンバー〕

リーダー	風間明専務理事
協力団体	5団体（実業団、学生、高校、中学、マスターズ）
地方	地域選出理事、登録者数が多い加盟団体、二重登録者が多い加盟団体など
クラブ	民間クラブ、クラブを運営している加盟団体など
普及関連	指導者養成委員会、強化委員会強化育成部などの委員
他競技	同様の問題を進めている他競技のNF
事務局	鈴木英穂事務局長

（幹事：石井朗生経営企画部長兼管理部長、事務局担当：三宅聡経営企画部経営企画課長）
 ※コアメンバーを少人数で設定し、テーマに合わせて、関係者に入っていたくことを想定。

〔スケジュール〕

2021年	10月から月1回程度議論＝全体による議論、テーマによってメンバーを絞った議論を並行して実施
	12月理事会で経過報告
2022年	3月理事会にて方針決定
	加盟団体、協力団体への周知システムの開発
2023年	4月から新制度スタート

4. JAAF Road Running Commissionの設立

吉澤事業部事業課長より資料に基づき説明があり、JAAF Road Running Commissionの設立が承認された。

〔承認された内容は下記の通り〕

〔JAAF Road Running Commissionの目的〕

日本のマラソン・ロードレースの全体運営を機能的・戦略的に進め、ロードレース全体を活性化させていくための組織。

〔JAAF Road Running Commissionの取組み〕

- ・マラソン／ロードレース全体の活性化に必要な取り組み
- ・ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ（JMCシリーズ）加盟要件の設定
- ・JMCシリーズ加盟審査
- ・JMCプロモーション企画 他

〔JAAF Road Running Commission メンバー〕

- ・リーダー
瀬古 利彦（日本陸上競技連盟副会長／マラソン強化戦略プロジェクトリーダー）
- ・企画・審査メンバー 有識者
- ・企画・加盟規定メンバー グレード1加盟大会主催者、有識者
- ・メンバー グレード2／グレード3加盟大会主催者
- ・事務局 日本陸上競技連盟事務局

※必要に応じて、様々な分野の専門家からアドバイスをもらう。メンバーの人数は固定ではなく、外部から招へいできるようにする。

5. 理事会規則の制定

清水法制委員長より資料に基づき説明があり、理事会規則が原案通り承認された。

理事会規則は、理事会の運営を決める事項として定めるものであり、法令や定款に記載している事項、及び法令や定款に一応の定めがあるが、曖昧な部分を明確に定める。

- 第1条 (目的)
- 第2条 (組織)
- 第3条 (役員以外の者の出席)
- 第4条 (開催)
- 第5条 (招集権者)
- 第6条 (招集手続)
- 第7条 (議長)
- 第8条 (定足数)
- 第9条 (決議の方法)
- 第10条 (決議事項)
- 第11条 (決議の省略)
- 第12条 (報告)
- 第13条 (報告の省略)
- 第14条 (議事録)
- 第15条 (改廃)

6. 常務理事会規則の制定

清水法制委員長より資料に基づき説明があり、常務理事会規則が原案通り承認された。

2021年6月の役員改選において常務理事を選任し、常務理事会を運営するにあたり、必要な規定を定める。

- 第1条 (目的)
- 第2条 (組織)
- 第3条 (開催)
- 第4条 (招集権者)
- 第5条 (議長)
- 第6条 (決議の方法)
- 第7条 (決議事項)
- 第8条 (協議事項)
- 第9条 (議事録)
- 第10条 (改廃)

「陸上競技研究紀要」 (Bulletin of Studies in Athletics of JAAF) 投稿規定

陸上競技研究紀要編集委員会

1. 投稿資格について

特に制限は設けない。

2. 投稿内容および種類について

投稿内容は陸上競技についての理論と実践に関するもので、内容に応じて、総説、原著、研究資料、実践報告(指導法および指導記録の報告)、文献紹介に分類される。スタイルは和文、英文のどちらでもよい。

投稿論文には上記の投稿種別を明記し、日本語に続けて英語のタイトル、著者、所属をつけ、総説および原著には英文要約(150語以内)もつけなければならない。(注:何らかの理由で英文要約等の作成が困難な場合は、編集委員会にその旨をご相談ください)

3. 採否等について

原稿は査読を行い、査読結果をもとに採否および掲載順序の決定、校正などは編集委員会が行う。

4. 原稿の書き方について

本文は、A4判縦置き横書きとし、1頁に横42文字×縦38字で約1600字、刷り上がり10頁以内、図表もその頁数に含む、すべて白黒にて作成すること。

計量単位は、原則として国際単位系(m, kg, secなど)とする。

また、英文字および数字は半角とする。

5. 文献の書き方について

本文中の文献は、著者(発行年またはonline)という形式で表記する。

例1) 田中(1996)は ----

例2) 文部科学省(online)は ----

文献は、原則として、本文最後に著者名のABC順で記載する。書誌データの記載方法は、著者名(発行年)、論文名、誌名、巻(号)、ページの順とする。

例) 吉原 礼、武田 理、小山宏之、阿江通良(2006)
女子棒高跳選手の跳躍動作のバイオメカニクス

的分析。陸上競技研究紀要、2:58-64。

伊藤 宏(1992) 陸上競技の発育・発達。陸上競技指導教本—基礎理論編一。日本陸上競技連盟編、大修館書店、55-72。

同一著者、同発行年の文献を複数引用した場合は発行年の後にa,b,cをつける。

例) 田中ら(1996 b)は、----

WEBサイトやWEBサイトに掲載されているPDFファイルなどを引用文献とする場合は、著者名(発行年)WEBページの題目、URL、(参照日)と表記する。発行年やファイル名が特定できない場合は(著者名、online)と表記する。

例) 日本陸上競技連盟(online) 陸上競技ヒストリー、
<https://www.jaaf.or.jp/history/syoushi/>、(参照日2020年7月24日)

詳細は、「体育学研究」投稿の手引を参考にする。

6. 原稿の提出先

投稿原稿(本文はMS Word、図表はMS Power Pointで作成)は、下記へE-mailの添付ファイルとして送付する。

日本陸上競技連盟

「陸上競技研究紀要」編集委員会宛

E-mail: kiyou@jaaf.or.jp

7. 原稿の締め切り

原稿の締め切りは特に設けず、随時受理し、査読を行う。ただし、2021年度版は、2022年1月16日とする。

8. その他

本研究紀要に掲載された内容の著作権は公益財団法人日本陸上競技連盟に帰属する。
(2021年10月19日 改訂)



日本陸上競技連盟では、指導者への科学的な情報の提供を目的に、毎年、陸上競技研究紀要を発行しています。内容は、みなさまからの投稿論文、特集企画、科学委員会の研究報告、医事委員会からのレポートなどで構成しています。

3月末の発行を予定しており、発行後には陸連ホームページにも掲載いたします。

2022年1月16日(日)締切で投稿論文を募集していますので、奮ってご投稿ください。

大会観戦ガイド

第75回福岡国際マラソン選手権大会

- ▼期日：2021年12月5日(日) 12時10分スタート
- ▼コース：福岡朝日国際マラソンコース（平和台陸上競技場～福岡市西南部周回～香椎折り返し）42.195km
- ▼アクセス：地下鉄「赤坂」「大塚公園」下車 徒歩8分
西鉄バス「福岡城・鴻臚館前」「福岡市美術館東口」「大手門・平和台陸上競技場入口」下車 徒歩5分～8分「赤坂3丁目」下車 徒歩10分
都市高速「天神北ランプ」「西公園ランプ」より約3キロ 園内に駐車場あり
- ▼競技種目：マラソンの他に、15km、20km、ハーフ、25km、30kmの記録が公認される。ただし、完走した競技者が対象
- ▼問合せ先：
【福岡国際マラソン選手権大会事務局】
〒812-8511 福岡市博多区博多駅前2-1-1
朝日新聞社西部企画事業チーム内
TEL：092-411-1137 E-mail：s-marathon@asahi.com
- ▼大会ページ：
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1585/>



男子第72回 全国高等学校駅伝競走大会 女子第33回 全国高等学校駅伝競走大会

- ▼期日：令和3年12月26日(日) 女子：10時20分出発
男子：12時30分出発（雨天決行）
- ▼コース：
男子：たけびしスタジアム京都をスタート、フィニッシュとする たけびしスタジアム京都付設駅伝コース（男子全国高校駅伝コース）
女子：たけびしスタジアム京都をスタート、フィニッシュ

ユとする たけびしスタジアム京都付設駅伝コース
（女子全国高校駅伝コース）

- ▼アクセス：京都市営バス「西京極運動公園前」下車
徒歩5分、阪急電車「西京極」下車 徒歩10分
- ▼区間・距離：
男子 42.195km 7区間
第1区10km（たけびしスタジアム京都～烏丸鞍馬口）
第2区3km（烏丸鞍馬口～丸太町河原町）第3区
8.1075km（丸太町河原町～国際会館前）第4区
8.0875km（国際会館前～丸太町寺町）第5区3km（丸
太町寺町～烏丸紫明）第6区5km（烏丸紫明～西大路
下立売）第7区5km（西大路下立売～たけびしスタジ
アム京都）
女子 21.0975km 5区間
第1区6km（たけびしスタジアム京都～衣笠校前）第
2区4.0975km（衣笠校前～烏丸鞍馬口）第3区3km（烏
丸鞍馬口～室町小学校前折返し～北大路船岡山）第4
区3km（北大路船岡山～西大路下立売）第5区5km（西
大路下立売～たけびしスタジアム京都）
- ▼問合せ先：
【競技に関する問合せ】
京都市立西京高等学校内
全国高等学校駅伝競走大会事務局
〒604-8437 京都市中京区西ノ京東中合町1
携帯：090-3844-3398（事務局次長）
FAX：075-822-5702
【その他の問合せ】
毎日新聞大阪本社 事業部内 全国高等学校駅伝競走
大会事務局 〒530-8251 大阪市北区梅田3-4-5
TEL：06-6346-8249 FAX：06-6346-8372
- ▼大会ページ：
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1587/>



事務局からのお知らせ

◆◆ライフスキルトレーニング◆◆

インタビュー Vol.1 伊藤陸×松尾大介コーチ×田嶋博道社長 ～三段跳・伊藤陸 大きな飛躍の裏側にあった変容や学び～

インタビュー Vol.2 伊藤陸×松尾大介コーチ×田嶋博道社長 ～物事を素直に受け止めること、自分を冷静にみることの大切さ～

日本陸連では、昨年度に引き続き、株式会社東京海上日動キャリアサービスのサポートのもと、日本や世界の頂点に挑み続ける陸上競技者のパフォーマンス向上とキャリア自立を両立する「ライフスキルトレーニングプログラム」の実施を本年度も計画し、第2期生の募集を行いました。

今回、ライフスキルトレーニングプログラムの第1期生の学びや成長を、受講生・受講生の指導者・主催者という3者の視点で振り返る対談を企画。第1期生の代表として、9月の日本インカレにおいて、走幅跳、三段跳で2冠獲得を達成した伊藤陸選手（近畿大工業高専）と、伊藤選手の指導にあたる松尾大介先生をお招きし、このプログラムを開発・提供する東京海上日動キャリアサービスの田嶋博道代表取締役社長とともに、お話を伺いました。

▼「インタビュー Vol.1」はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15564/>



▼「インタビュー Vol.2」はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15565/>



▼第2期受講生募集についてはこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15527/>



◆◆戸邊直人選手（JAL）がJOCアスリート委員に立候補！

～陸上競技を代表し、スポーツ界全体の発展・貢献を目指す～◆◆

この度、「JOCアスリート委員」に東京2020オリンピック日本代表・走高跳日本記録保持者の戸邊直人選手（JAL）が立候補することになりましたのでお知らせいたします。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15607/>



陸連時報編集委員

◇編集委員

尾縣 貢（陸連会長）
黄倉 寿雄（陸連副会長）
瀬古 利彦（陸連副会長）
有森 裕子（陸連副会長）
風間 明（陸連専務理事）
鈴木 英穂（陸連事務局長）
牧野 豊（陸上競技マガジン編集長）

◇時報編集室責任者

石井 朗生
◇時報編集担当
日本陸連 広報課

陸連時報編集室

〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
日本陸上競技連盟内
TEL：050-1746-8410
FAX：050-3588-1869